埼玉県特集

埼玉県内４工科系大学 今年度の取り組み

少子化の進行、厳しい就職環境、親世代の格差拡大による学生の学習環境の変化など、大学を囲む環境は大きく変化している。現在の大学には、学びの場としての『懐の深さ』とともに、一人ひとりに目を配るきめ細かい支援が求められている。埼玉県内に所在する４工科系大学では、２０１１年４月―12年４月までの間に３大学で新学長が生まれるなど世代交代が進んだ。各大学に、13年度の取り組みと将来展望を聞いた。

日本工業大学

波多野　純学長

―育てる人物像は。

「現場のプロジェクトリーダーだ。例えば製造業に就職し、アジアの拠点工場に派遣された終わりでは体験学習にすぎない。目標を設定し、企画から設計、製作に至るまで一貫して手がけることで、問題解決能力が養われる。これを『工房教育』として実践している。これまでとする。機械が変な音を出している。ここで、データを本社に送り指示を仰ぐのが、一般的なサラリーマンだろう。そうではなく、上着を脱いで、現地の技術者と一緒に解決する人材を育てたい。それには、技術力、コミュニケーション力、予知力の三つの力が必要だ」

―その教育方法とは。

「日常的に機械に触らねばならない。しかし、旋盤に触っては。

「独自の教育上の取り組みや就職実績が評価され、志願者は増えている。課題は、通学圏が狭くなりつつあることだ。全国区の大学であることが大事だと考えている。そのため、広報活動を強化し、地方の高校訪問を増やしている。学生の半分を工業高校出身者が占めており、地方の工業高校からぜひ進学してほしい」

現場のリーダーを育成

学部のみだったが、今年の4月から大学院でも始めた。研究室に閉じこもるのではなく、周辺領域のことも理解できるようになる」

―学生を募集するうえで課題

ものつくり大学

稲永　忍学長

―就任から1年たちました。現状認識は。

「産業界などの支援を受けて設立された経緯もあり、大手企業とのネットワークなどあらゆる面で恵まれている。しかし残念ながら知名度が低く人が集まっていない。多くの工学系の大学のなかで、当学の特徴は何か。明らかにし、優位性を伸ばしていく。大学にとってのお客さまは学生と企業、地域社会。お客さまのニーズをつかみ、マッチングをしていく」

―具体的には。

「どの大学も悩んでいるだろうが、退学率を低減したい。そこで昨年夏に『学修支援本部』を立ち上げた。退学する学生は、入学直後からサインを出している。早期に対処することで退学を防ぐ。少人数制を生かしたクな取り組みを始めました。

「高校と大学の連携が非常に重要だと考えている。そこで、県内の工業高校から研修に来る先生方に『連携講師』という名称を付与することにした。連携講師が研修を終えて工業高校に戻った後に、高校生に大学の情報を提供する。一貫教育とまではいかなくても、早い段階から将来の姿や大学時代の過ごし方を考えられるようになる」

工業高校との連携強化

埼玉工業大学

内山　俊一学長

―学校の特色は。

「県北部と群馬県出身の学生が7割を占める地域密着型であること。また、心の問題を扱う文系学部を持つことだ。この特色を生かし高い倫理観を持った人材を育てたい。工学部では中堅技術者を育てるが、就職して『技術営業』として営業職に就く学生も多い。技術がわかっても人の心がわからない、というのではいけない。そのため、文系と理系の間で単位互換などを認めている。個人的には、両学部の垣根をもっと低くしていきたい。強い精神力を持つ人材の育成にもつながる」

―昨年度、新組織を立ち上げました。

「『キャリア支援センター』や『学習支援センター』、『ものつくりテクノセンター』『留学支援センター』の四つ。今年度は学内に、専用の建屋を用意したいと検討している。特にものつくりは加工設備を置くため、場所が必要だ」

―授業以外の時間を充実させるねらいです。

「学生と大学の間に精神的な距離ができると、問題が生まれやすい。部活動やサークルとは別に、学生主体の活動を大学が支援する『がんばる！学生プロジェクト』を立ち上げ、学生と教職員のコミュニケーションを改善している。とはいえ学校が何でも用意するのもいけない。面倒見の良さと厳しさの調和が求められている」

高い倫理観持つ人材を

東京電機大学

理工学部　柏崎　尚也 学部長

―今年度の運営方針は

「大学で一番大切なのは、学生が元気で活発に学べるということに尽きる。そのためにも学生参加行事を増やしていく。地元行政や企業の協力を得て、学生にとって社会勉強になるような行事を創っていきたい。野球やフットサルの学内大会もやってみたい。秋の理工学部学園祭にも通用する基礎教育の充実は好ましくない。学生向けイベント中心に予算を組み立てることで、こうした利害調整がしやすくなるのではないか。それから、会議を短くし意思決定を早める。まとまりにくい教授会の討論も見直す必要がある。例えば、個々の問題に通じたメンバーによる短期的なワーキンググループでの方針決定などを導入したい」

われる18歳人口の急減に備え、魅力ある学問体系の構築が急務。いろいろブームに乗って新学科を設置しても、すぐ内容が陳腐化してしまう。どんな時代でも、学生の参加意識を高め、大学への帰属意識を深められたらと考えている」

―教育体系の改編を視野に入れています

「今から7年後に始まると言ベントなどで予算を奪い合うのと、専門家の養成を図る大学院教育パワーアップの二本立てで行く」

―事務効率化を強調されています

「教授同士が地域との共同イ

基礎充実と専門家養成

ものつくり大学 Institute of Technologists

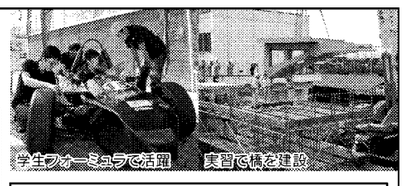
―大きな社会的要請を受けて開学した革新的工科系大学―

技能工芸学部 ― 製造学科（先進加工技術コース、機械デザインコース、電気電子・ロボットコース、情報・マネジメントコース）
技能工芸学部 ― 建設学科（木造建築コース、都市・建築コース、仕上・インテリアコース、建築デザインコース）

技術と技能を兼ね備えたテクノロジストを育成します
理論や知識に偏重することなく、技術と技能を身につけたエンジニアを育成しています。
講義と実技をバランス良く融合した本学独自のカリキュラムに基づき、実践的な工学教育を展開しています。
今後も産業界からの期待に応え、技術立国を支える有為の人材を育成します。

テクノロジストとは？
ものつくり大学の英語名 Institute of Technologists は、大ヒットした「もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら」で注目を集めた故ピーター・F・ドラッカー氏によって名づけられました。「テクノロジスト」とは、理論だけでなく高度な技術も併せ持つ人のことを言います。

ものつくり大学では就職支援に力を入れています
就職が厳しい不況下においても、90％を超える就職率を維持しています。
本学の教育理念やカリキュラムに対する産業界からのご理解と高い評価に感謝いたします。
・日立グループ、トヨタ関連企業、清水建設グループをはじめ有名企業に多数の学生が就職しているほか、埼玉県内企業との太いパイプで県内優良企業にも多くの学生が就職しています。
・平成23年度「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業（文部科学省）」に採択
・全教員が進路指導を実施
（教員1人あたりの学生定員：2013年版大学ランキング6位）


学生フォーミュラで活躍　実習で橋を建設

入試Information　詳しくは、大学HPをご覧下さい。
★オープンキャンパス開催!!
6/9(日)、6/23(日)、7/7(日)、7/15(祝)、7/27(土)
ドーミトリ（学生寮）に宿泊体験できます。（要予約）
★福岡・仙台で入試を実施!!
推薦入学試験Ａ日程および一般入学試験Ａ日程は、本学以外に福岡と仙台でも実施します。
★特待生制度・奨学金制度あり

学校法人ものつくり大学
〒361-0038　埼玉県行田市前谷333番地　（大学公式ホームページ http://www.iot.ac.jp）
学校法人ものつくり大学会長　宮本洋一　学校法人ものつくり大学総長　梅原猛
学校法人ものつくり大学理事長　石岡慎太郎　学校法人ものつくり大学学長　稲永忍

支えるテクノロジー。
Tomorrow's Technology, Today.
Kawakin Holdings Group
Kawakin
川金ホールディングスグループ
TEL：048-259-1111　www.Kawakinhd.co.jp
株式会社 川金ホールディングス
株式会社 川金コアテック
株式会社 川金テクノソリューション
株式会社 川口金属工業
株式会社 川口金属加工
株式会社 松田製作所
光陽精機株式会社
株式会社 林ロストワックス工業
株式会社 ノナガセ

複合切削工具のパイオニア
豊富なオリジナル品と
受注制作による特殊刃具で
あらゆるニーズにお答えします
信頼を裏切らない
創業以来一貫して特殊刃具の受注生産を続け、高精度 高速ドライ 難削材加工といった様々なニーズにきめ細かく対応。
優れた技術を支える
営業と一体となった優れた創造的なエンジニアが、多様化するユーザーニーズに対応。
人・ソフト・ハードの合理的な一貫システム化により、お客様に満足いただけるパワフルな高付加価値商品を生産。
業務内容
超硬・ハイス・PCD・CBN・サーメット・ステンレス
切削工具及び治工具の製造販売
株式会社 東洋ドリル
〒340-0001 埼玉県草加市柿木町1796　TEL 048-930-6311（代）　FAX 048-930-6312
E-mail web@toyodrill.co.jp

お客様のニーズに応える　TOYO 一般産業用シャフト加工!!
長年のシャフト加工技術と最新の技術、機械を駆使し、御客様のニーズにお応えいたします。

・長尺シャフト加工部門
・芯間10M旋盤保有
・その他旋盤計20台
プラント、大型産業機械駆動軸
長尺ジャッキねじ等
・CNC旋盤加工部門
・CNC旋盤芯間1.5M,3.0M,4.0M 計30台
・円筒研削盤、バランシングマシン、高周波焼入れ
印刷機械、送風機、建設仮設機械、等
加工は、1本から短期製作いたします。
●問い合わせ見積は下記へ
福島：営業部　宮本
TEL 0247(26)3008　FAX 0247(26)2619
ISO14001認証取得
福島工場・新潟工場
――人の力を技術の力に――
TOYO SHAFT 東洋シャフト株式会社
本社　〒322-0032 埼玉県川口市中青木4丁目14番11号
TEL 048(252)3008(代)　FAX 048(253)3320
URLhttp://www.toyoshaft.co.jp/
本社営業 048(256)3008　大阪 06(6543)3008　名古屋 052(204)1171
工場　川口本社工場　福島工場　新潟工場